

第6回日本プラグフェスト開催報告

— 技術本部ハードウェア委員会 —

第6回日本プラグフェストを開催いたしましたので報告いたします。

日本プラグフェストは、インターフェース規格を使用するメーカー同士が、相互運用性を検証するための技術イベントです。今回は前回より参加チーム数は減少しましたが、来年春以降にリリースされる最新規格を搭載した機器でのエントリーが多く、技術的にハイレベルな接続性の検証イベントとなりました。

さらに今回は特別講演として、HDMIファウンダーの1社であるパナソニック株式会社のAVCネットワークス社 技術本部AVC CTO室主幹の臼木直司様より、「パナソニック株式会社のHDMI 2.0課題に対する取組み」についてご講演を頂戴いたしました。

また今回参加いただきました各社には、参加証を発行させていただきました。

会期・場所

会期:平成26年11月27日(木)～28日(金)

場所:地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

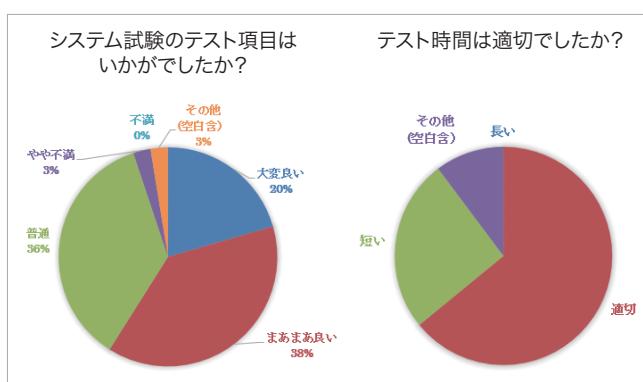
東京イノベーションハブ

主催:一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

目的・特徴

同一インターフェース規格(HDMI)を持つ製品間の相互運用性を検証し、確実なものとすることで、不具合解消や品質の向上を目的としています。

参加メーカーは、ソース機器*1、シンク機器*2、リピータ機器*3に分かれ、自社製品と他社製品との接続を行い、通信・映像・音声・暗号化検証において規格に準拠した通りの挙動となっているか、安定的な接続がなされているか等、細かく検証します。また日本プラグフェスト独自の試験項目を策定し実施することで、参加メーカー全体の品質向上を促しています。



*1 デジタルコンテンツを出力する機器(BDレコーダ、デジタルカメラ等) *2 デジタルコンテンツを受信し表示する機器(TV、プロジェクタ等) *3 ソース機器とシンク機器間で、信号の再送信等を行う中継機(AVアンプ等)



会場風景

参加メーカー・機種

・参加メーカー

18社 51名

・参加機種

シンク機器 19機種(TV、プロジェクタ等)

ソース機器 7機種(BDレコーダ、ゲーム機、デジタルカメラ等)

リピータ機器 12機種(AVアンプ、AVレシーバ等)

測定器 3機種(オシロスコープ、ネットワークアナライザ等)

試験方法

▼ 個別試験

・各チーム1対1の試験

・1スロット45分

▼ システム試験

・シンク、ソース、リピータを複数介した試験

・1スロット90分

参加者からのご意見・ご要望

・大変お世話になりました。またよろしくお願いします。

・いつも準備等ありがとうございます。商品開発の上で非常に重要なイベントです。継続して開催をお願いします。

・大阪で開催してください。

・関西地方での開催があると参加しやすいです。

...

以上のような声をはじめ、多数のご意見をいただきました。お寄せいただいた、試験方法、場所、試験時間等に関するご要望につきましては、今後可能な限り対応します。

次回の予定

次回は2015年4～6月頃の開催を予定しています。具体的な日程等が決まり次第、日本プラグフェストHPにてお知らせいたします。(<http://www.jasa.or.jp/plugfest/>)